

先進医療科学専攻（病態病理学）准教授候補者の公募について

本医学研究院では、先進医療科学専攻（病態病理学）の准教授を選考することになり、平成20年6月16日付けで公募することになりました。

今回公募する准教授は、本医学研究院病理学部門において、病理診断業務とその教育研究とを担当し発展させていただける方で、病理診断の発展に積極的に取り組んでいただける方を希望します。専門分野は問いませんが、特に、乳腺・婦人科病理などを **subspecialty** とされる方を歓迎します。

つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、貴機関関係者にご周知いただくとともに適任者の応募について、ご配慮くださいますようお願いいたします。

なお、本医学研究院では教員の任期制（任期は准教授7年、再任可）を適用しております。

おって、選考の過程において、御講演等をいただく場合もありますので、あらかじめご承知おき願います。

また、提出いただいた下記書類は、選考を目的に、必要に応じ学部内で公開することがありますので併せてご承知おき願います。

記

1 提出書類（和文）

- | | |
|---|-----|
| (1) 履歴書 | 1部 |
| (2) 業績目録 | 1部 |
| (3) 主要論文別冊（10論文以内） | 1部 |
| (4) 教育実績書 | 1部 |
| (5) 応募者についての業績、人物等の所見を問合せ可能な方3名の氏名・連絡先・電話番号（A4版縦型・書式随意） | 1部 |
| (6) 推薦者のある場合はその推薦書 | 各1部 |
| (7) 病理診断の実績、病理解剖実績 | 1部 |
| (8) 医学教育に関する実績と抱負（A4版縦型・1000字程度） | 1部 |
| (9) 研究に関するこれまでのまとめと今後の展望 （A4版縦型・1000字程度） | 1部 |
| (10) 病理診断（専門領域を含めて）に関する経験と抱負 （A4版縦型・1000字程度） | 1部 |

2 応募締切期限

平成20年8月15日（金）（必着）

3 提出先

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教授 張ヶ谷 健一 宛

〔応募は、原則として郵便（書留）とし、封書の表に
「病理診断部准教授応募書類在中」と朱書願います。〕

4 問い合わせ先

医学研究院腫瘍病理学 Tel 043-226-2053 Fax 043-226-2058

以上

記載上の注意事項

1. 履歴書（様式1-1）

学歴は、大学入学以降の学歴、インターン歴、研究生などの研究歴を記入して下さい。

職歴には、給与関係を除いて下さい。なお、履歴の空白期間には、説明（自主研修等）をつけて下さい。研究歴及び教育歴には、所属講座・部門等まで記入して下さい。

免許及び資格には、医師免許、歯科医師免許、認定医、専門医、指導医、標榜医等を記入して下さい。

学位には、授与された大学名も記入して下さい。また、大学院の課程修了による学位は大学名の後にAと、論文提出による学位はBと記入して下さい。

学会活動等は、所属の学会名、役職名等を記載して下さい。

賞には、学術活動による表彰を記入して下さい。

年の表示については、西暦で記入して下さい。（以下共通）

2. 業績目録（様式1-2）

A～Fの各項について記入して下さい。（目録の1枚目から順に頁を付して下さい。）

目録A～Dには、既に刊行されたものと、受理（accept）されて公刊予定となったもの（印刷中、in press）のみを記入して下さい。

（注1）記載は、欧文・和文に分けて、それぞれ発行年順に記入して下さい。

（注2）記載方法は、記載例を参照して下さい。本人には、アンダーラインを付して下さい。

（注3）共著者名は、業績に記載してある順に全員記入して下さい。

A. 原著とは、著者の研究成果をまとめたもので、referee journalに記載された論文を指します。（注）学位論文に相当する原著の番号を 印で囲って下さい。

B. 症例・治験・手技の項には、A、C、Dのいずれにも属さないものを記載して下さい。

C. 総説には、展望・講座・解説等が含まれます。

D. 著書には、翻訳が含まれますが、その場合は（翻訳）と記して下さい。

E. 学会発表については、a. 特別講演・シンポジウム等、b. 一般発表（最近5年間の発表総数と主要なもの10題以内）をそれぞれ欧文・和文に分けて年代順に記入して下さい。なお、講演要旨或いは抄録の掲載記録は、行末に括弧を付けて記入して下さい。

F. 研究助成金取得状況については、文部科学省（文部省）・厚生労働省（厚生省）・その他に分け、また、代表研究者か分担研究者かを明記して下さい。なお、研究報告書は、括弧内に記入して下さい。

3. 教育実績（様式任意）

教育に関する研修歴、主な講義内容、教務・厚生・補導等に関する委員歴等その他教育に関する経験、実績等について記載して下さい。

（注）1. 上記書類は、学内に公開されることがあります。

2. 上記書類は、原則としてA4版とし、ワードプロセッサ等を用いて作成して下さい。

履 歴 書

ふりがな ち は た ろう
 氏名・性別 千 葉 太 郎 印 男
 生年月日 1 9 5 0年5月31日
 現住所 千葉市中央区亥鼻1 - 8 - 1
 本籍 千葉市稲毛区弥生町1 - 3 3
 現職 千葉大学准教授大学院医学研究院 (学)

学歴及び職歴

1969年 4月 1日 千葉大学医学部入学
 1975年 3月23日 千葉大学医学部卒業
 1975年 6月 1日 医員(研修医)(千葉大学医学部附属病院 科)(1976年 3月30日まで)
 1976年 4月 1日 千葉大学大学院医学研究科博士課程(系)入学
 1980年 3月25日 千葉大学大学院医学研究科博士課程(系)修了
 1980年 4月 1日 研究生(千葉大学医学部 学講座)(1982年 3月31日まで)
 1982年 4月 1日 医員(千葉大学医学部附属病院 科)(1983年 3月30日まで)
 1983年 4月 1日 文部教官 千葉大学助手医学部附属病院(科)
 1986年 9月 1日 文部省在外研究員(アメリカ合衆国ペンシルバニア大学医学部生理学講座)
 (1987年 6月30日まで)
 1987年12月 1日 千葉大学講師医学部附属病院(科)
 1988年 4月 1日 厚生技官(国立 病院 科医長)
 1990年 4月 1日 文部教官 千葉大学講師医学部(学講座)
 2001年 1月 6日 中央省庁等の再編に伴い、文部教官は文部科学教官となった
 2001年 4月 1日 文部科学教官 千葉大学講師大学院医学研究院(学)
 2004年 4月 1日 国立大学法人法の規定により国立大学法人千葉大学職員となった
 2004年 5月 1日 千葉大学助教授大学院医学研究院(学)
 2007年 4月 1日 千葉大学准教授大学院医学研究院(学)

免許及び資格 医師免許(登録番号 123456号) 1 9 年 月 日
 第一種放射線取扱主任者(登録番号 78910号) 1 9 年 月 日
 日本内科学会認定医, 日本循環器学会専門医

学 位 医学博士(千葉大学A) 1 9 8 0年3月25日

学会活動等 日本薬理学会評議員, 日本生理学会員, 日本神経科学会専門委員
 International Brain Research Organization 会員
 編集委員: 蛋白質・核酸・酵素, Journal of Biological Chemistry

賞 日本細菌学会黒屋奨学賞(に関する研究, 1 9 年)

業 績 目 録

A . 原著

- 1 . Chiba,T.(1980)Electron microscope observations on the fusion of chick myoblasts in vitro. J.Cell Biol.48,128-142.
- 2 . Kono,M.,Ishikawa,K.and Chiba,T. (1987) Acetylcholine sensitivity of skeletal muscle cells differentiated in vitro from chick embryo. Brain Res.25,216-219 .
- 3 . Grant,S.,Kobayashi,H.and Chiba,T.(1991)Isolation and culture of motoneurons from embryonic chicken spinal cords.Proc.Natl.Acad.Sci.USA 76,3537-3541.
- 4 . Suzuki,N.,Chiba,T.and Bader,D. (1996) Molecular cloning and expression of chicken cardiac troponin T.Cir.Res.65,1251-1246.
- 5 . Hastings,K.E.M.,Koppe,R.I.,Marmor,E., Chiba,T. and Aoki,N. (in press) Structure and developmental expression of troponin I isoforms.J.Biol.Chem.
- 6 . 野田雄二，唐沢義一，千葉太郎，工藤栄一（1990）食道癌手術視野からみた気管支動脈の走行に対する解剖学的検討．日外会誌 94,456-465.
- 7 . 小林秀雄，千葉太郎，石川洋一（1997）右開胸食道癌根治手術時における上縦隔リンパ節の郭清可能範囲に関する研究．日消外会誌 26,2134-2139.
- 8 . 中野 浩，伊藤浩二，千葉太郎，和田幸平（印刷中）下肢刺激 SEP の随意運動による影響．臨床脳波．

B . 症例・治験・手技

- 1 . Kawai,A.,Ishige,T., Chiba,T. and Murayama,W.(1995)Malignant exophthalmos associated with multiple myeloma.Inter.Med.32,875-878.
- 2 . Chiba,T. and Fujita,M. (1999) A case of renovascular hypertension:segmental hypoperfusion resulting from single vessel stenosis in the presence of bilateral duplex renal arteries. Jpn.Cir.J.56,620-622.
- 3 . 中野俊一，千葉太郎，橋本三郎（1997）上皮小体の癌と腺腫の異時性重複と思われる 1 症例．耳頭頸 65,647-652.

C . 総説

- 1 . Chiba,T. (1996) Brain damage due to surgical injury to the cerebral vein.Clin.Rev. Neurosurg.3,191-195.
- 2 . 千葉太郎 (1997) FACS を用いた細胞間接触と Ca²⁺ シグナルの検索．実験医学 11,93-98.

D . 著書

- 1 . Peltz,S., Chiba,T. and Jacobson,P. (1995) mRNA turnover in *Saccharomyces cerevisiae*.In: **Control of Messenger RNA Stability**,ed G.Brawerman and J.Belasco,San Diego,San Diego,CA: Academic Press Inc.,291-327.
- 2 . Woolford,J.,Chiba,T.and Warner,R.(1997)The ribosome and its synthesis. In:**The Molecular and Cellular Biology of the Yeast *Saccharomyces*:Genome Dynamics,Protein Synthesis and Energetics**,vol.1,ed.J.R.Broach,J.R.Pringle and E.W.Jones,Cold Spring Habor,NY:Cold Spring Habor Laboratory Press,587-626.
- 3 . 千葉太郎 (1996) 心肺運動負荷テスト . 運動と呼吸 , 谷村真一編 , 南江堂 , 東京 , 1-10.
- 4 . 野口進一 , 千葉太郎 (1997) レセプター遺伝子の発現と合成 , レセプター : 基礎と臨床 , 今井和夫編 , 朝倉書店 , 東京 , 92-105.

E . 学会発表

a . 特別講演・シンポジウム

- 1 . Chiba,T.,Kawai,A.and Ishige,T.(1996)Fetal cells in maternal blood:frequencies measured by the polymerase chain reaction (PCR) and in situ hybridization.8th International Congress of Human Genetics Symposium. (*Am.J.Hum.Genet.*,Suppl.49,210-211,1996.)
- 2 . 千葉太郎 (1997) XYZ 症候群と精神障害 . 第 85 回日本解剖学会総会 . (*解剖誌* 10,379-380,1998)

b . 一般発表 (最近 5 年間の発表総数 題 , うち主要なもの 10 題以内は以下のとおり)

- 1 . 土屋伸也 , 千葉太郎 (1996) 食道静脈瘤の外科的治療 . 第 81 回日本消化器病学会 . (*日消会誌* 54 , 946,1997)
- 2 . 田辺英男 , 大竹昌彦 , 千葉太郎 , 河野雅敏 (1999) 食道静脈瘤外科的治療における腹水の意義と管理 . 第 82 回日本消化器病学会 . (*日消会誌* 56,345,2000)
- 3 . 千葉太郎 , 野口進一 (2000) 運動初期の換気亢進の検討 . 第 71 回日本生理学会大会 . (*日生会誌* , 印刷中)

F . 研究助成金取得状況

a . 文部科学省 (文部省) 科学研究費

一般研究 (B) 「 遺伝子発現 , 蛋白質合成及び構造形成の機構 」 研究代表者 , 1995-1996 年

一般研究 (A) 「 に関する細胞生物学的研究 」 研究代表者 , 1997-1999 年

試験研究 (B)(2) 「 に関する研究 」 研究分担者 (研究代表者 大学 大沢三郎) , 1994-1995 年

重点領域研究 (2) 「 に関する基礎的研究 」 研究分担者 (研究代表者 大学 齋藤五郎) , 1997-1999 年 (1997 ・ 1998 ・ 1999 年度文部省科学研究費補助金重点領域研究 (2) 研究報告書 708-711,2000.)

b . 厚生労働省 (厚生省)

精神・神経疾患研究委託費 「 に関する研究 」 研究分担者 (研究代表者 × × 大学 小杉六郎) , 1994-1996 年 (厚生省精神・神経疾患研究委託費平成元年報告書 63-67,1995; 1995 年報告書 50-55, 1996; 1996 年報告書 53-58,1997.)

c . その他

Muscular Dystrophy Association "Neuronal control of postsynaptic muscle protein". 1997-1999. (Annual Report 105-110,1997;150-155,1998;161-165,1999.)

記念財団自然科学研究 「 に関する研究 」 研究代表者 (記念財団自然科学研究報告書 187-189,1997.)